





川崎忠夫 うつわ展

令和5年9月22日(金)~27日(水) 会期中無休

開廊時間：午前11時~午後7時(最終日27日は午後5時まで)

作家在廊日：会期中、全日在廊予定

陶歴 昭和37年 武蔵野美術大学 工芸工業デザイン科 卒業 有田の岩尾磁器に入社
 昭和44年 J.O.C.Vより、インドにて窯業指導
 昭和46年 帰国後、岩尾磁器を退職、窯を築く
 昭和50年 第25回 日本伝統工芸展 初入選
 昭和54年 寛土里にて個展 その後、毎年定期的で開催
 昭和58年 日本工芸会 正会員
 平成12年 第40回 伝統工芸新作展 朝日新聞社賞 受賞
 令和元年 柿傳ギャラリーにて個展 その後、定期的で開催

幼少の頃、祖父から藍染を家業にしていたと良く聞いていました。家の庭には大人の身の丈程の大きな瓶がいくつか残っていました。

窯を築いた52年前。染付の器を作ることが、これからの自分の方向だと思われたのも、私のルーツに藍染の魅力に通ずる何かがあったと感じています。

その器の中に身近に見られる野草を描くことで、自分らしい器が出来る様になったと感じています。

このモチーフで色絵、朱華、緑青彩、セピア・・・と展開してきました。 川崎忠夫

柿傳ギャラリー

KAKIDEN GALLERY

160-0022 東京都新宿区新宿3-37-11 安与ビルB2階
03-3352-5118 gallery@kakiden.com

公式Instagram



お手間で恐縮ですが、弊廊ホームページや公式SNSにて、最新情報をご確認頂ければ助かります。